

さくらの開花予想（第4回） （東北地方）

〔概要〕

本年のさくら（ソメイヨシノ）の開花は、東北地方では平年より早い見込みです。

〔本文〕

さくらの開花は、一般的に気温が高いと早まり、気温が低いと遅くなります。今回の予想対象地域では、3月に入ってから平年より高く気温が推移しました。また、今後の気温は3月末までは平年より高く、その後は平年並か高いと予報されています。このため、本年のさくらの開花は、東北地方では平年より早い見込みです。

〔参考〕

1. さくらは、夏頃に翌春咲く花のもととなる花芽（かが）を形成し、休眠に入ります。花芽は冬の低温に一定期間さらされると休眠から覚めます（休眠打破）。花芽は休眠打破のあと気温の上昇とともに生長し開花します。
さくらの予想開花日は、過去の開花日と気温のデータから予想式を作成し、これに、昨年秋からの気温経過と気温予報をあてはめて求めています。なお、気温予報には週間予報、1か月予報及び3か月予報を用いています。
2. 開花とは花が5～6輪開いた状態のことです。さくらの開花は、一般的に標高が100m高くなるごとに約2～3日遅くなります。
また、今回発表した地域のソメイヨシノの開花から満開までの期間は約5日です。なお、満開とは、花芽の約80%以上が開花した状態のことです。
3. さくらの開花を平年値（1971年～2000年の30年間の累年平均値）と比べる場合、「平年並」とは平年値との差が2日以内、「早い（遅い）」とは平年値より3日以上早い（遅い）ことをいいます。なお、「かなり早い（遅い）」とは平年値より7日以上早い（遅い）ことをいいます。
4. 開花予想は、各气象台や測候所の定めた標本木を対象としたもので、名所の開花とは異なることがあります。また、予想開花日には平均して前後2～3日程度の誤差があります。

資料1：2008年の各地のさくらの開花予想（予想開花日一覧・等期日線図）（3月26日発表）

今後のさくらの開花予想の発表は下表のとおりです。いずれも14時に発表する予定です。

	東北地方	北海道
第5回（4月2日）	○	
第6回（4月9日）		○
第7回（4月16日）		○
第8回（4月23日）		○

資料1 2008年の各地のさくらの開花予想（3月26日発表）

地点	予想 開花日	平年 開花日	平年 差	前年 開花日	前年 差
【東北地方】					
仙台	4. 8	4. 12	-4	4. 6	+2
青森	4. 22	4. 26	-4	4. 25	-3
秋田	4. 13	4. 19	-6	4. 18	-5
盛岡	4. 14	4. 23	-9	4. 20	-6
山形	4. 13	4. 17	-4	4. 13	0
酒田	4. 11	4. 16	-5	4. 12	-1
福島	4. 8	4. 11	-3	4. 2	+6
小名浜	4. 3	4. 8	-5	3. 29	+5

（注）表中の平年差の「+」は平年より遅い、「-」は平年より早い、「0」は平年と同じことを示しています。前年差も同様です。
平年差については、平年より3日以上早い場合は桃色、平年より3日以上遅い場合は青色で表示しています。
「—」は該当する値がないことを示しています。

2008年のさくらの開花予想の等期日線図（3月26日発表）
（東北地方）

